



佐賀大学 SAGA UNIVERSITY

理工学部 FACULTY OF SCIENCE AND ENGINEERING

2025 年 11 月 7 日

ウィーン工科大学地域プランニング研究室のメンバー21 名が 三島伸雄教授の案内で肥前浜宿を来訪

【概要】

2025 年 9 月 17 日～18 日、ウィーン工科大学建築プランニング学部・地域プランニング研究室の教員と学生あわせて 21 名が、都市工学部門の三島 伸雄 教授の受け入れにより、鹿島市肥前浜宿を視察しました。同研究室では、地方都市の歴史的環境保全や都市再生に取り組んでいます。視察の際には、三島教授との共同研究に関する意見交換も行われ、今後のさらなる発展が期待されます。

【本文】

2025 年 9 月 17 日～18 日、ウィーン工科大学建築プランニング学部・地域プランニング研究室の教員と学生あわせて 21 名が、都市工学部門の三島 伸雄 教授の受け入れにより、鹿島市肥前浜宿を視察しました。同大学との交流は、三島教授が文部科学省在外研究員として 1999 年に派遣されたことをきっかけに始まり、現在まで継続しています。今回来訪した研究室は、当時三島教授が所属していた研究室の系列にあたり、オーストリアの数少ない城郭都市であるドローセンドルフ市を対象に、地方都市の歴史的環境保全や都市再生に取り組んでいます。

9 月 17 日正午ごろに肥前浜駅へ到着した同研究室メンバーは、三島教授が改修のアドバイザーを務めた水頭別宅にて、同教授による講義「歴史的町並みの持続可能な再生：鹿島市肥前浜宿の取り組み(Nachhaltige Renovierung eines Historische Dorfes: HIZENHAMA-SHUKU, Stadt Kashima, Japan)」を受講しました。講義では、まちづくりのための取り組みをはじめ、防災計画や建築基準法緩和条例の制定、河川改修の取り組み、さらに茅葺町家、水頭別宅、隈研吾氏設計の富久千代酒造「fuku」などの改修事例について詳しい説明がありました。参加者たちは、三島教授が肥前浜宿で住民参加から都市デザイン、建築設計に至るまで幅広く関わってきたことに深い感銘を受け、活発な質問や意見交換が行われました。

水頭別宅での休憩時には、日本文化を体験してもらうことを目的に、料金制によるお茶会が開催されました。水頭別宅の改修後、外国人を迎えて実施された初のお茶会となり、この報告を受けた建物所有者の水頭 元嘉氏は「このような使い方をしてもらえるのは本当にうれしい」と感激されました。

肥前浜宿のゲストハウス「まる」に宿泊した一行は、夜は Hama bar にて、NPO 法人肥前浜宿水とまちなみの会のスタッフの方々と語りいながら、鹿島の地酒を楽しみました。肥前浜宿の魅力を存分に味わった一行は、その後、帰国の途につかれました。

今回の来訪により、肥前浜宿を通じてウィーン工科大学建築プランニング学部との関係を一層深めることができました。また、国際共同研究や教育の今後の展開についても活発な議論が交わされました。今後、両研究組織間において、さらなる研究・教育活動の発展が期待されます。



富久千代酒造fukuの視察（2025年9月17日）



鹿島市肥前浜宿・水頭別宅における三島教授の講義（2025年9月17日）



お茶会の様子（2025 年 9 月 17 日）



肥前浜駅にて（2025 年 9 月 18 日）